

1970年当時、霧丘中学1年生だった方に尋ねたいことがある。あなた、映画鑑賞会で『エルヴィス・オン・ステージ』を観ましたか？

僕は観たと思っている。日本公開は同年11月だが、エルヴィス・プレスリーのことを何も知らなかった僕が、音楽映画を進んで見に行く理由がない。友だちに誘われた可能性が低いと思う



映画鑑賞会でエルヴィスを知った

のは、併映の『マジック・クリスチャン』を見ずに席を立ったからだ。僕、そんなもったいないことしないですよ。しかも、出演しているのがビートルズのリング・スター。エルヴィスは知らなくても、リングの名前は知っていたので、後ろ髪を引かれる思いで映画館を出たのを覚えている。

が、この話をすると友人たちは言うのだ。映画鑑賞会でエルヴィスなんて、その中学はどうかしている。あの映画は50〜60年代に大スターだったロック

歌手の復活を追うドキュメンタリー。代表曲さえ知らない中学生向きではない。別の映画と勘違いしているのではないか。

友人たちの反応はもつともだと思う。本当に観たとするなら、鑑賞会を企画した霧丘中学の先生が熱狂的なファンだったとしか考えられない。中学生を啓蒙するようなところが何一つないにも関わらず、OKを出した校長先生のおおらかな姿勢にも頭が下がる。

変わり者の教師の奮闘で実現したであろう鑑賞会は、歌謡曲とポップスで育ってきた一人の少年をロックの世界へと導いた。僕はエルヴィスのカッコ良さにシビレてしまい、以後この映画を何度も観ることになる。それまで見向きもしなかった音楽雑誌を読むようになり、小遣いを工面してレコードも集めた。

でも、10代、20代を通じて、僕みたいなファンに出会うことはほぼなかった。ビートルズが解散した年に中学生になった僕たちは、後追いで彼らのサウンドを知り、歌謡曲からポップス、ロック、フォーク

まで、耳に入る音楽を吸収していった世代だ。その中にエルヴィスは入っていないのである。当時はそれに気づかず、どうしてエルヴィスの良さがわからないのかと憤慨していた。あのステージを観たら、好きにならずにいられないだろうと、僕は全国の中学生が映画鑑賞会で『エルヴィス・オン・ステージ』を観たと思いついていたのだ。(フリーライター、挿絵は伊野孝行さん)